

2. 廃棄パンの活用について

○食品ロスを減らす取組み

当組合では、さらなる製品の品質向上を図り、不良品や原材料使用のムダをなくす取組みを強化しています。新製品提供前にはラインテストを実施し、作業のポイントを確認するなど、食品ロス発生抑制対策を実施しています。万が一製造ミスが発生した場合は、発生部門はもちろんの事工場全体が一体となって再発防止に取り組み、各人が品質、生産効率の向上を図ることを常に意識して、次の製造に取り組んでいます。

○食品リサイクルへの取組み

やむを得ず発生した排出物については再資源化を積極的に行っています。その取組みの一つとして、令和4年9月に株式会社東北バイオフィードリサイクル（本社：仙台市宮城野区）様と「産業廃棄物処分委託契約」を締結し、食品廃棄物の処分を依頼しています。この会社は、食品廃棄物から微生物の働きによってバイオガスを発生させ、再生可能エネルギーとして発電し、電力を供給する事業を展開しています。今後も継続して利用していきたいと考えています。

○フードバンクへの提供

昨年度より、いわぬま・こども食堂プラス（代表 坂本久子）へ月1回程度パンを寄贈しており、「子どもたちはパンの日を心待ちに楽しみにしています。」と話をいただいています。

○今後に向けて

今後も「子どもたちへおいしいパンを！」を製造のモットーとし、継続して食品ロスを抑制するため、重要性を従業員全員が理解し、身近なことから少しずつ、創意工夫を重ねながら再資源化を図り、さらにリサイクルの質を向上させていきたいと考えています。

株式会社東北バイオフィードリサイクル 会社概要	
所在地	(本社) 仙台市宮城野区港1丁目6-1 (工場) 仙台市宮城野区蒲生3丁目10-1
事業内容	食品リサイクル・バイオガス発電事業
資本金	6,000万円
設立年月日	2019年11月15日
出資者	J&T環境 45% JR東日本 29% 東京ガス 21% 東北鉄道運輸5%

